

日教組香川  
2019. 8



発行所 日教組香川教職員組合  
〒760-0008 高松市中野町15-24  
佐藤ビル1F  
TEL 087-802-1640  
FAX 087-802-1642  
URL <http://www.jtu-k.com/>  
E-mail [jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp](mailto:jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp)  
発行人 嶋村太伸  
毎月1日発行



人事院よ、急げ！ 働き方改革  
このままでは学校に教職員は  
.....いなくなる

7. 25公務員連絡会中央行動@人事院前

香教組でもない、  
香教連でもない、  
高教組でもない



日教組香川HPへ

全国で一番なかまの多い 日教組香川へ

# 9. 24県人事委員会独自交渉



関谷県人事委員会委員長と手交する嶋村日教組香川委員長

日教組香川は、7月24日(水)県人事委員会(委員長 関谷利裕)と独自交渉を行い、嶋村委員長他計5名が参加しました。今回は、5月8日の五者共闘での交渉を踏まえて、重点5項目に絞り、交渉に臨みました。

「教育職員の勤務実態を正確に把握し、報告に盛り込むこと」

県人事委員会は、香川県の教職員の勤務時間を具体的に把握できていません。事務局としても独自に調査できないことから、県教委に県立学校、そして市町の小中学校に働く教職員の勤務時間実態を要求し、数値として「長時間勤務の常態化」を表すように要求しました。

「教育職員の常態化した長時間勤務の改善のため、管理職員による、法令に基づく厳格な勤務時間管理をするよう報告に盛り込むこと」

現在、県立学校、市町立小中学校では、ICカードやタイムカードによる客観的な



関谷県人事委員会委員長

勤務時間の把握が始まっています。

しかし、その前提となる、勤務時間の「明示」「掲載」「掲示」ができていない職場があること、また休憩時間も十分に取れない職場実態とともに、その結果、十分に考えて行動していない教職員が増えていることも報告しました。そこで、業務内容をどう減らしていくかが課題だと提起しました。

さらに、労務管理の意識がない管理職が多くおり、管理職の意識を変えていくことの大切さ、管理職によって職場が変わることの重要性を報告に盛り込むように要求しました。

「公務において「勤務間インターバル」を確保するよう報告に盛り込むこと」

今後、長時間労働是正の施策になろう「勤務間インターバル」について、最低11時間ないと、県教委の行っている「月の時間外勤務80時間ゼロ」にならないことを説明し、報告に具体的な時間まで盛り込むよう求めました。

「学校現場で働くLGBTや障害のある教育職員が働きやすくするための職場環境

# 暑い夏 人事院県・人事委員



決起集会

7月25日、東京の日比谷公園大音楽堂で、国公連合、自治労、日教組、全水道、林野労組、日高教、自治労連で組織される公務員連絡会は3,000人の組合員(日教組850人)の参加のもと「2019人勤期7.25中央行動」を開催しました。

総決起集会では、柴山議長(国公連合委員長)の主催者あいさつで、以下の5項目の行動目標を確認しました。

- ①月例給与、一時金の引上げ勧告を行うこと。
- ②住居手当の見直しは、十分な交渉・協議、合意に基づき行うこと。
- ③超過勤務を縮減し、ワーク・ライフ・バランスを実現すること。
- ④非常勤職員等の給与・労働条件を改善すること。
- ⑤ハラスメントの防止に向けて、有効な対策を推進すること



### の改善などを進めるよう報告に盛り込むこと」

昨年度に引き続き、LGBTや障がいのある教職員が働きやすくするための職場環境の改善などを進めるよう報告に盛り込むことを求めました。

働きやすい職場環境の推進として、多目的トイレの設置により、教職員だけでなく、児童・生徒も使うことができ、そして学校は誰でも来ることができる場所となることを説明しました。

### 「長期不妊治療休暇を新設するよう報告に盛り込むこと」

今年度も長期不妊治療休暇の必要性について強く訴えました。

現在、香川県では、不妊治療について年休で対応していますが、全国的には、病気休暇対応が十数県、特別休暇対応亜も数県。特に、茨城県では、一昨年4月から1年間の特別休暇が取得、取得者が産休、育休に移行している例を挙げました。

この間、情宣で、不妊治療を行っている方の声を載せましたが、治療の日数や専門の病院への通院など治療されている方への負担はたいへん大きいものがあり、周りに気遣いすることなく、安心して休める体制作りが必要

です。

今後、自治労、県職連合とも連携しあって、長期不妊治療休暇制度が新設されるよう、日教組香川は最大限の取組をしていきます。



日教組香川執行部



全国から集まった組合員による支援行動

その後、激励にあたった南部連合副事務局長が、あいさつの中で、教職員の長時間労働問題に触れ、解消・改善の緊急性と必要性を述べました。また、決意表明では、三重県教組から、学校職場が魅力ある職場となっていないことなどを述べ、長時間労働是正を強く求めました。

集会後、参加者は、人事院前交渉支援、デモ行進に分かれて行動しました。

総括集会では、職員福祉局長交渉、給与局長交渉の報告がされ、19人事院勧告での要求実現にむけ、特に月例給与、一時金の引上げにこだわって、引き続きとりくむことを確認しました。

この集会に、日教組香川からは嶋村委員長が参加し、人事院前では、日教組の多くのなかまとシュプレヒコールをあげました。

人事院勧告は、8月上旬～中旬が予定されています。

### 人事院四国事務局にも要求

6月6日、香川県公務労協（県内の日教組、自治労、全水道、全農林、四国国税、全財務、林野労組、国交労組、政労連の組合が集まっています）は、サポートにある人事院四国事務局との交渉を行いました。

特に、組合別の現状の報告で、日教組香川からは、休憩時間の提示など基本的な労働ルールさえ守れていない現状を話し、「法律を守るように指導してください。」と要求しました。

公務員の中でも教職員の働き方が「異常」であることは、他の労働組合の方にも常々理解いただいています。教職員の働き方改革に一層社会の理解を進めていくためにこれからも発信していかねばなりません。

（さ・志度小分会 高木由紀(日教組香川副委員長)）

# さぬき市議会と三木町議会でも質問 教職員の働き方改革を進めよう!!

さぬき市議会でも多田雄平市議、また三木町議会では小島重俊町議が、日教組香川の要望を受け「教職員の働き方改革推進」等の質問を行いました。その質問と答弁内容を報告します。

## さぬき市議会一般質問

6月24日

多田雄平市議

(多田議員)

教職員の働き方改革プランについて  
(教育長答弁)

多田雄平議員の「教職員の働き方改革プランについて」のご質問にお答えいたします。

さぬき市におきましては、長時間勤務を解消することなどで、教職員が日々の生活の質や人生を豊かなものにし、未来を担う子どもたちを育てる学校教育の推進を図るため、「教職員の働き方改革プラン」を平成31年3月に策定いたしました。

そして、このプランにおいては、「業務の適正化」、「業務の効率化」及び「学校運営改革と意識改革」の3つの基本的方向を定め、現在の労働力で、教育内容の優先順位をつけながら、長時間勤務の解消等に向けて鋭意取り組んでいるところであります。

(多田議員)

30年前と比べた小・中学校の学校行事の増減について

(教育長答弁)

まず、「30年前と比べた小・中学校の学校行事の増減について」ですが、既に当時の資料等が廃棄年度を経過したことや、学習指導要領の改訂等に伴う総授業時間数の変化により、具体的な数字による比較が難しいものの、学校行事に関しましては、当時よりは多くなっているものと考えております。

しかしながら、教職員の働き方改

革が全国的に喫緊の課題として認識されるようになってきた3年前頃からは、各学校で各種行事の見直し、教育活動のスリム化等を積極的に進めており、その数は徐々に減少傾向にあるだけでなく、効率的かつ効果的な学校行事のあり方について、見直しが図られているところであります。

具体的には、これまで別の日に実施していたPTA行事を学習参観日の午後から実施するなど、複数の行事を同一日に行うことや、学校行事としていた遠足を校外学習として行ったり、更には、生活科や総合的な学習の授業として学習活動に編入するなど、各学校の実態に応じて、家庭や地域との連携を視野に入れ、学校行事の目的やその効果等も考えあわせながら、行事の精選に取り組んでいるところであります。

(多田議員)

学校行事の効率化に率先して取り組む必要性について

(教育長答弁)

次に、「学校行事の効率化に率先して取り組む必要性について」であります。

学校行事には、始業式、終業式や入学式、卒業式等の学期や年度の区切りに実施する行事、運動会、生活発表会及び学習参観など、学習の成果や効果を保護者が確認するための行事、更には、地域の伝統行事、開かれた学校づくりとふるさと教育の行事等、それぞれ、その目的や意義が異なる行事があり、これらの行事を実施することで、児童・生徒の心のゆとりづくり等の効果があるものと認識しております。



多田雄平さぬき市議

一方で、当然のことながら、市教育委員会といたしましては、学校行事については、その学習効果や地域との繋がり、教職員の負担感等を考慮しながら、その必要性を十分に検証したうえで、効率的に実施すべきものであると考えております。

なお、業務の効率的運営の例としてご提案をいただきました、教職員の研修にデマンド放送を導入する方式は、パソコンやタブレット端末でインターネットを利用し、指定された研修場所に移動することなく、学校にいながら空き時間等を利用して、様々な研修を受講することが可能なツールの一つであり、香川県においては、香川県教育センターが、学習指導案や調査研修報告書など教育活動に役立つ情報をインターネットで提供する等、オンライン研修事業の推進が図られているところであります。

したがって、まずは香川県教育委員会等に対して、県外での導入事例も参考に、オンデマンド方式によるeラーニングをはじめとするより多くのコンテンツの開発と提供に向けての働きかけを行うとともに、教職員に対しても積極的な活用を呼



びかけてまいりたいと思います。

いずれにいたしましても、教職員が心身両面の健康を維持し、教育の専門職として、学習指導や生徒指導などの教育活動に誇りを持ち、意欲的に取り組むことができるよう、教職員の働き方改革の推進に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

## 三木町議会一般質問

3月12日

小島重俊町議

(小島議員)

教職員の働き方改革について

・10年ぶりに実施された「教師の勤務時間実態調査」の結果は。

(教育総務課長答弁)

昨年公表されました教員勤務実態調査では、市町ごとの結果は公表されておりませんが、昨年9月より本町におきまして、教職員の働き方改革の一環として、教職員の勤務状況を客観的に把握するため、町内の小中学校にICカードを試験的に導入しております。

昨年10・11月の一人あたりの時間外勤務の状況は、平井小53時間、田中小59.7時間、氷上小73.9時間、白山小59.6時間、三木中63.5時間でありまして、町内小中学校の一人あたりの時間外勤務時間は、67.7時間となっていることから、三木町においても文科省の調査結果とほぼ同じ状況であると考えられます。

(小島議員)

・どのような「働き方改革」考えているのか。

(教育長答弁)

公立学校の教職員の給与に関しましては、「公立の義務教育諸学校の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)」に基づき、支給されている状況であります。

国の制度が変わらない限り、現在

の法令等に基づき、改革を進めていくしかないと考えております。

(小島議員)

教職員の働き方改革について

・教職員の働き方改革プランの策定は。

(教育長答弁)

三木町教育委員会におきましては、平成30年3月に香川県教育委員会が策定しました「教職員の働き方改革プラン」に基づき、町内小中学校の教職員の勤務実態を把握した上で、本年3月末に「三木町立学校における教職員の働き方改革プラン」を策定する予定で協議を進めております。そのプランの中で、平成31年度から3年間にかけて、先ほど申し上げました、時間外勤務が月45時間を超える教職員数を現状の半数以下に、また、月80時間を超える教職員数をゼロにすることを数値目標として、働き方改革に取り組んでまいります。

具体的な改善策としましては、既に今年度から実施しておりますICカードによる教職員個々の勤務時間の管理、夜間や休日の留守番電話の設置、夏季休業中の学校閉庁日の設定などを継続してまいります。

また、本町の小学校は2学期制を採用しており、夏季休業や冬季休業の前にゆとりが持てると教職員から大変好評です。小学校におきましては、今後も2学期制を継続してまいりたいと考えております。さらに、各校で行っている業務改善の取り組みを、町内校長会等で紹介し合い、効果のある取り組みを積極的に取り入れていけるよう助言したいと考えています。

さらに、新年度におきまして、学校現場における、いじめや不登校、児童虐待などの問題に対応するため、社会福祉士や精神保健福祉士などの専門的な知識や技能を持つスクールソーシャルワーカーを新たに配置することにしており、教職員の負担が軽減されるものと期待しております。



小島重俊三木町議

今後におきましても、必ずしも教員が担う必要がない業務につきましても、新たに専門スタッフの配置を検討するなど、業務の見直しを図ってまいります。

また、教職員が心身ともに健康であるためには、職場環境づくりが大切であることから、労働安全衛生管理体制を整備し、教職員の健康管理が確実に実施できるようにしたいと考えております。

(小島議員)

1年単位の变形労働時間制について  
(教育長答弁)

現在、中央教育審議会の答申が出された段階であり、実施可能であるかどうか、検討していく必要があると考えております。

学校の現状や教職員の声を十分把握した上で、今後、町としての意見を述べる機会があれば、考えを述べさせていただきたいと思っております。

市町の「教職員の働き方改革プラン」は進んでいますか

ご意見・お問い合わせは  
日教組香川まで

TEL 0120-27-5925

URL

<http://www.jtu-k.com/>

E-mail

[jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp](mailto:jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp)

現状や問題点をお知らせ下さい。

# 教育実践講座 II

## 楽しい宿題⑤

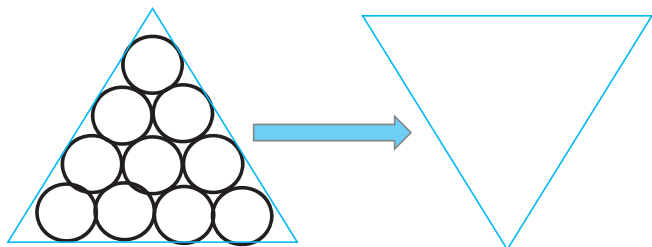
石原清貴(元小学校教員)

### 1 算数パズルを宿題に出そう

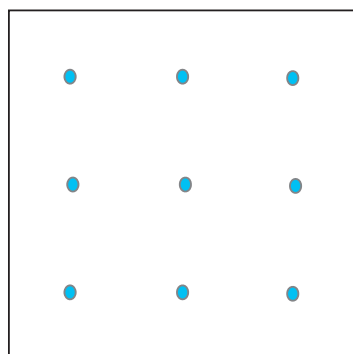
宿題は必ずやって提出しないといけない家庭学習という考え方を捨てましょう。出来なかったって、それなりに考えてきたらそれでいいという宿題をどんどん出すべきです。今回はそんな宿題を3題出したいと思います。2つはよく知られた図形パズル問題、1つは算数オリンピックの問題です。

#### (1) コイン並び替えパズル

〔問題〕次のように三角形に並べられたコインがあります。このコインを3個だけ動かして逆三角形に並べ替えましょう



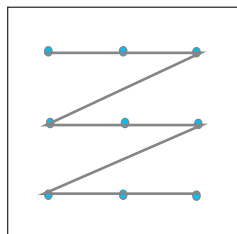
→ヒント (てっぺんの1個をどこに持って行けばいいのかを考えるといいよ)



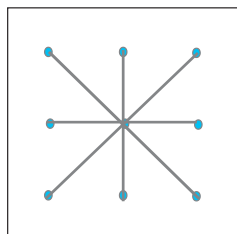
#### (2) 一筆書きパズル

〔問題〕9個の点を4本の直線でつなぎます。但し直線はつながっていないといけないといけません。

次の2例は正解ではありません。



・つながっているが直線が1本多い。



・4本だけどつながっていない一筆書きでないため

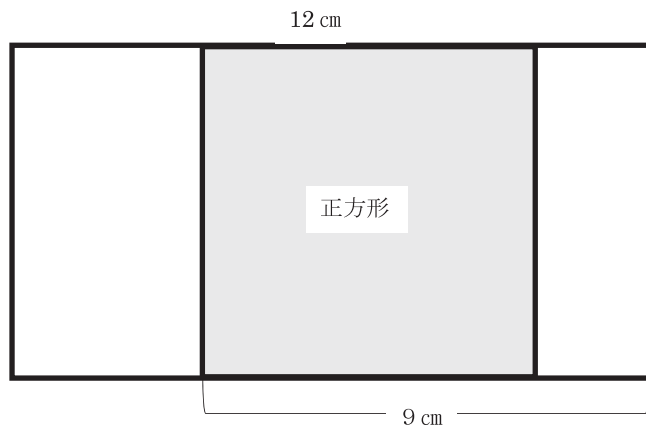
正解のヒント (傘の形)

(3) 難しいように思えるけれど足し算引き算で解ける

〔問題〕下の図のように長方形の折り紙の上に色の付いた正方形の紙がぴったりのっかっています。この長方形の紙の周りの長さは何cmでしょうか？



石原清貴氏



なんだか難しそうですね。本当に分かるのでしょうか？これはヒントなしで考えてみてください。

### 2 パズルの効能

パズルが好きな子はたいてい算数・数学が好きです。そもそも算数・数学がパズル的な要素を持っているからです。中学校の数学はほぼパズルだと言ってもいいかと思います。パズルの楽しさは、試行錯誤の繰り返しから、突破口を見つけ出して、手がかりをつかむと嘘みたいに解けないと思っていた問題が解けたり、ちょっと発想を変えて問題を読み直すと簡単に解けたりする点にあります。

そして何より、パズルと向かい合うと自然に考えを持続し、深め、論理的に考えようと工夫する点です。こういった知能の働きを思考力と呼ぶのかもしれませんが、もっと算数数学教育の中でパズルは取り入れるべきだと思います。

但し、こういったパズルを宿題にするときは「やってくる」ではなく「考えてくる」という言葉をお忘れなく。

日教組香川県教育研究集会  
9月7日(土) 13:00~16:00  
詳細は次号で！

# 気軽におしゃべり、 JTU-カフェ開催中

2019年8月22日(木) 18:30~20:00  
日教組香川事務所(高松市中野町15-24 佐藤ビル1F)

相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意しています。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代500円をいただきます。

## 職場での悩みごと、ご相談受け付けます

教職員のためだけの共済だから

# 自動車共済

こんなにスゴイ制度ができました

- スゴイ ①
- スゴイ ②
- スゴイ ③

「公務中」「通勤中」の事故は等級ダウンなし!  
「事故有係数」を使用した等級割引制度は不採用!  
「教職員の立場」をしっかりと理解した事故対応

通勤中の事故  
公務中の事故  
通常の等級ダウン事故の場合でも

刑事処分にとまなう教職員のデメリットを熟知しているから

補償充実コース6等級以上なら「等級据置」だから更新時の掛金アップなし!  
1共済期間につき1回  
どの契約コースでも「等級据置」だから更新時の掛金アップなし!  
多くの損害保険会社や共済で導入されている「事故有係数」を使用した等級割引制度は不採用!

正式起訴を回避できるような確かなアドバイスをさせていただき、円満解決をめざします。



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所 TEL 0120-27-8140 FAX 0800-200-2207

## カナリア通信

全力で今を

◆ 高校生の演劇を見る機会がありました ◆ 今年全国大会に進むので、壮行会を兼ねた公演に誘われたのですが、堂々とした演技や脚本なども自分たちで作っていることなど、驚くことばかりでした ◆ 現実にはあり得ないような部分もあるけれど、ところどころにある現実味のある台詞が、本当に起こっている話のように感じさせました ◆ 主な役以外の人が複数の役をやっていたり、裏方の仕事を出演者がやっていたり、全員で作り上げていると感じました。部活というスポーツが先に思い浮かびますが、文化部もすごい ◆ 全国大会をめざしてがんばった高校生たちの演技は熱く、(勉強時間はあるのかな?)と心配になった程でした。後は、全国大会での健闘を祈るばかりです ◆







**「かみもと」から「みずおか」へ  
働き方改革の思いを  
秋の国会に届けよ!**

**アンケートへのご協力を!!**

**日教組「学校の働き方改革」現場の実態・実感アンケートを  
7月17日(水)～8月31日(土)に実施します。**

昨年に引き続き、今年も「学校の働き方改革」現場の実態・実感アンケートを実施します。  
勤務時間は減りましたか?業務の負担は減りましたか?  
仲間に声をかけ、みんなでとりくんでより多くの声をお寄せください。  
結果は今後の文科省との交渉・協議等、また、各県教育委員会等との交渉・協議にも活用します。

- インターネット・スマートフォンでの回答  
アクセス URL : <https://labour-research.org/limesurvey2/index.php/181559?lang=ja>  
QRコード :
- 回答は 15 問、所要時間は 10 分程度です。
- 個人・学校名等が特定されることはありません。
- 期 日 7月17日(水)～8月31日(土)

